

改革プラン・前年度との対比・乖離 の状況 ※H22年度実績は9月末までの実績ベース

入院患者数

	H20	H21	H22
改定版改革プラン	85.5	115.5	104.9
実績	79.5	97.1	93.2 <u>91.8</u>

前年度対比増減人数 -3.9人

前年度対比影響額 -56,031千円

改革プラン	85.5	115.5	118.0
-------	------	-------	-------

入院単価

	H20	H21	H22
改定版改革プラン	40,024	39,051	42,113
実績	42,269	42,077	39,383 <u>39,711</u>

前年度対比増減単価 -2,694円

前年度対比影響額 -91,632千円

改革プラン	40,024	39,051	38,952
-------	--------	--------	--------

改革プラン対比影響人数・単価・金額	
11.7人	2,730円
168,156千円	92,856千円
影響額	261,012千円

270,488千円

※緑は10月実績含む状況

外来患者数

	H20	H21	H22
改定版改革プラン	551.7	637.0	575.9
実績	556.2	574.1	523.7 <u>521.9</u>

前年度対比増減数 -50.4人

前年度対比影響額 -105,367千円

改革プラン	551.7	637.0	645.0
-------	-------	-------	-------

外来単価

	H20	H21	H22
改定版改革プラン	8,080	7,917	8,371
実績	7,894	8,335	8,632 <u>8,592</u>

前年度対比増減価 297円

前年度対比影響額 37,668千円

改革プラン	8,080	7,917	7,878
-------	-------	-------	-------

改革プラン対比影響人数・単価・金額	
52.2人	-261円
109,127千円	-33,106千円
影響額	76,021千円

84,435千円

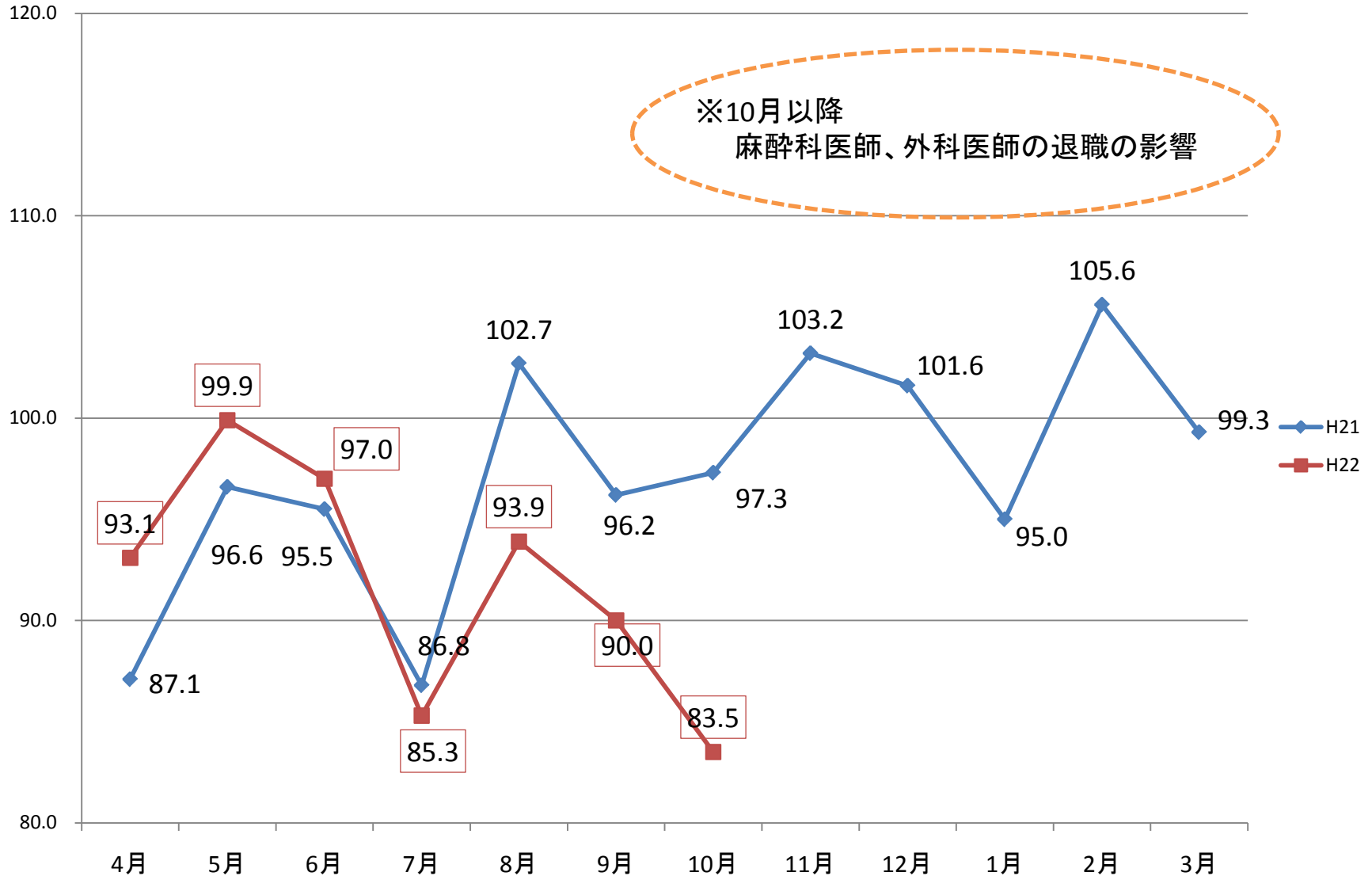
※242日開院で試算

前年度対比影響額	215,361千円	改定改革プラン対比影響額	337,033千円
	232,369千円		354,923千円

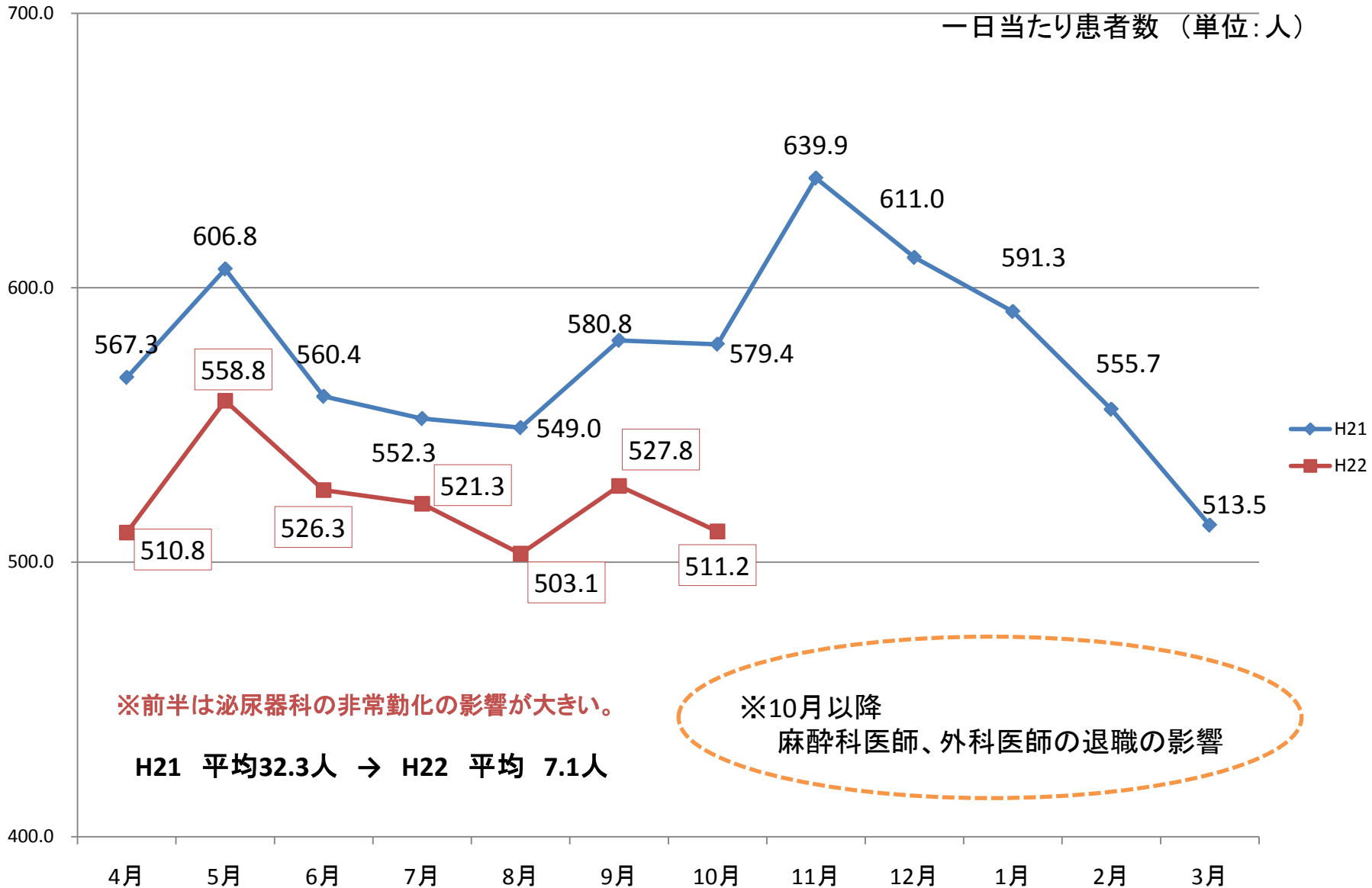
前年度対比で2億1千万円、改定版改革プラン対比で3億3千万円もの乖離？

月別入院患者動向(前年度対比)

一日当たり患者数 (単位:人)

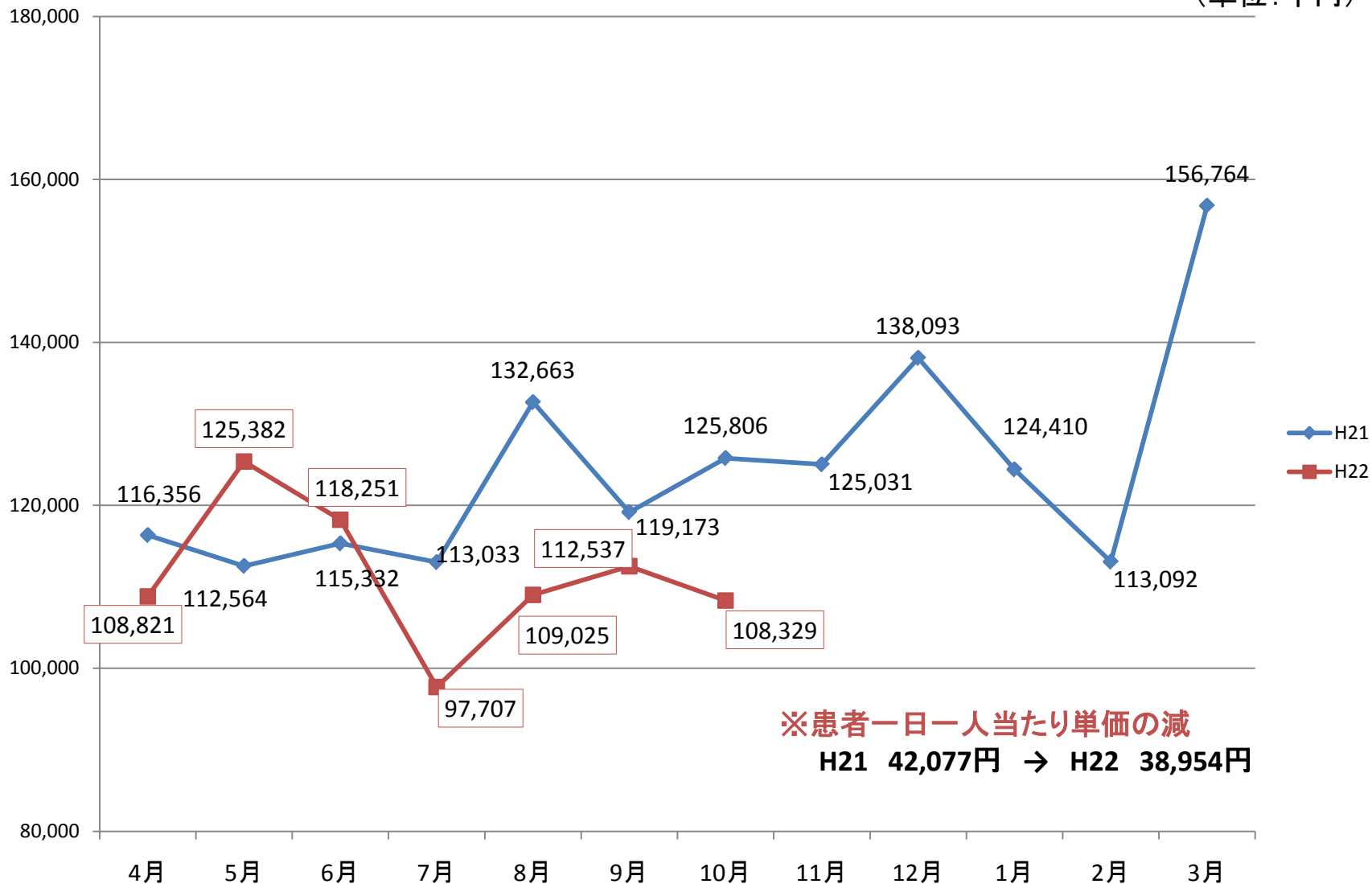


月別外来患者動向(前年度対比)



月別入院収益(前年度対比)

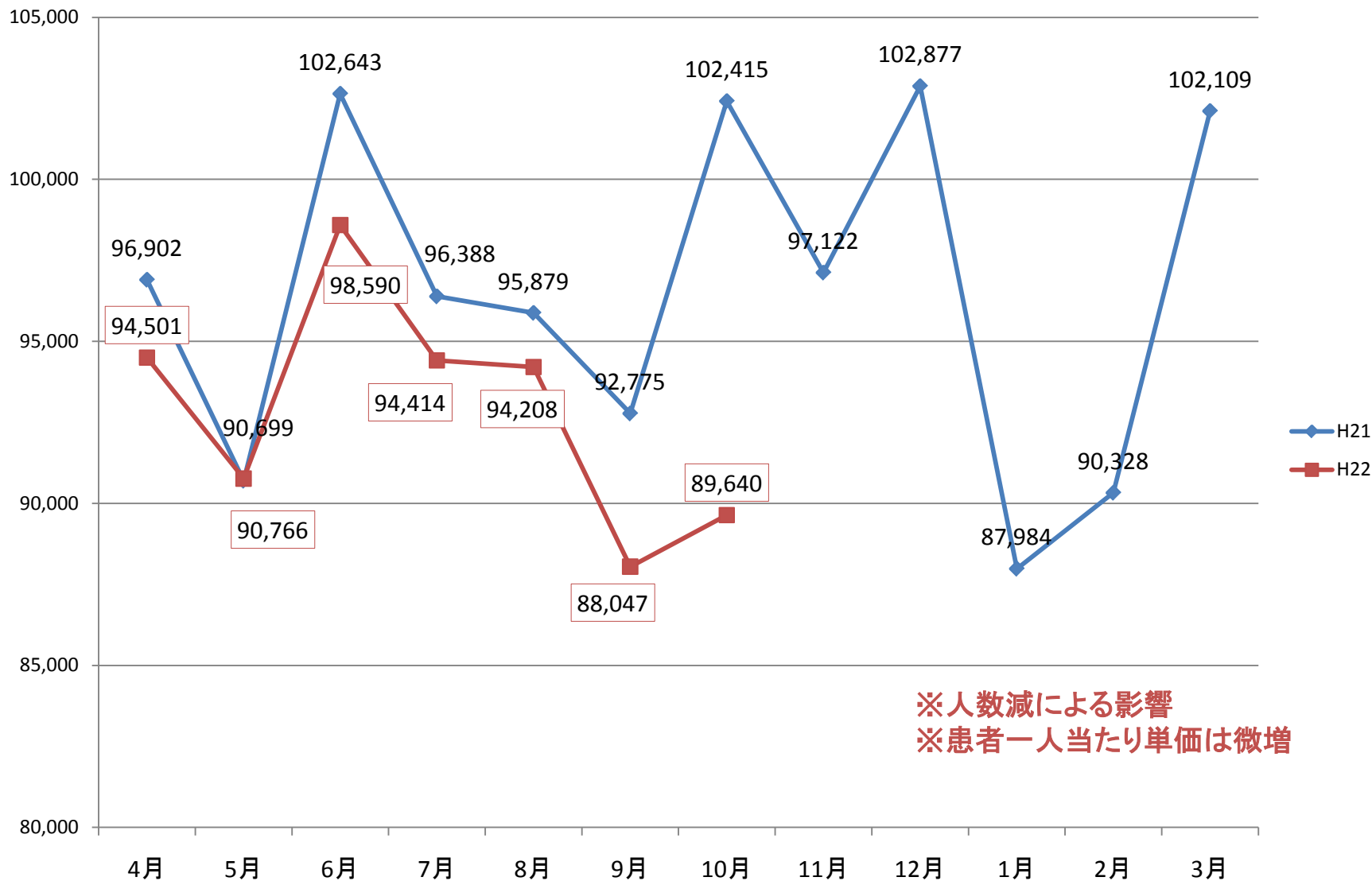
(単位:千円)



※患者一日一人当たり単価の減
H21 42,077円 → H22 38,954円

月別外来収益(前年度対比)

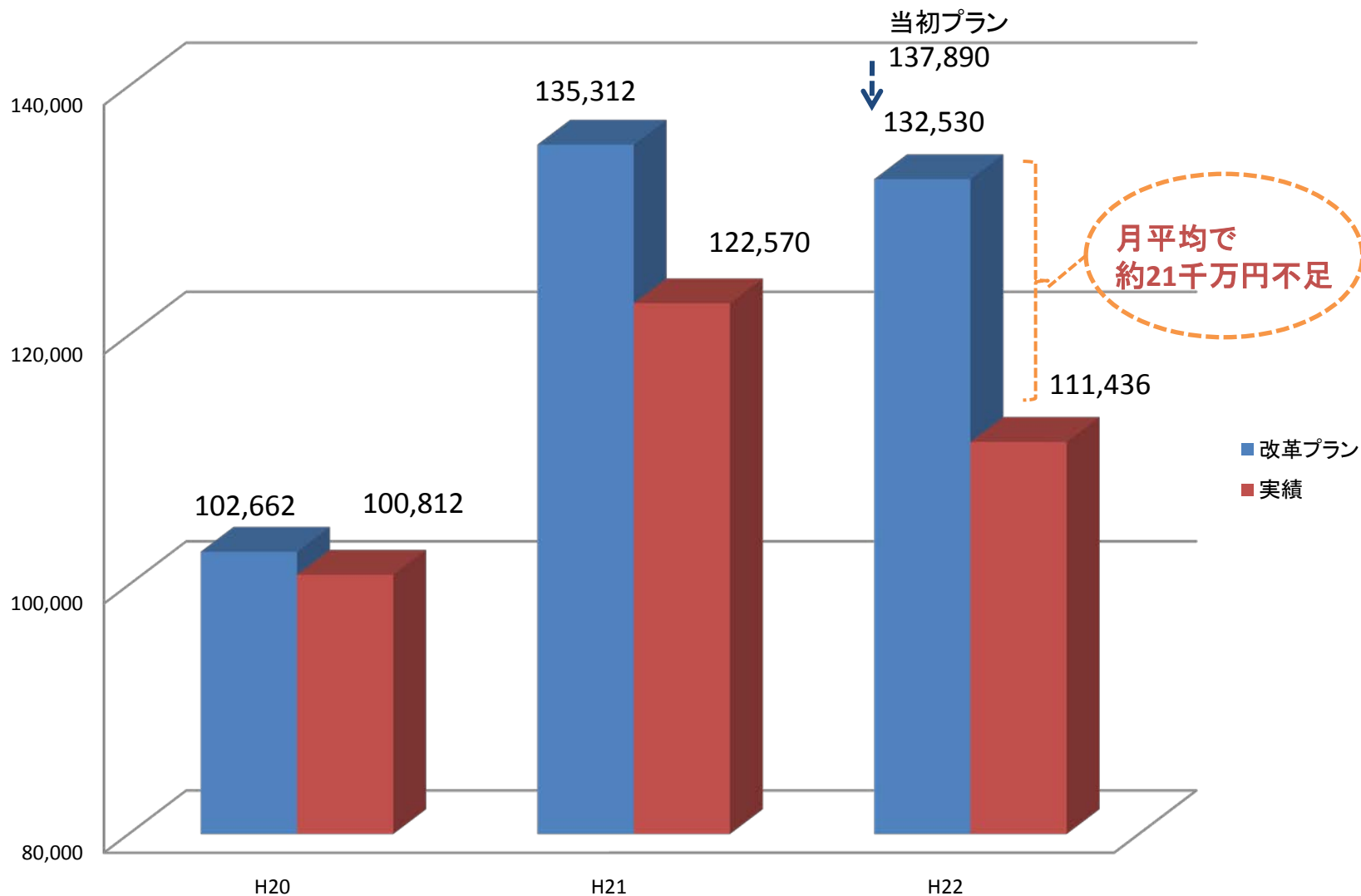
(単位:千円)



※人数減による影響
※患者一人当たり単価は微増

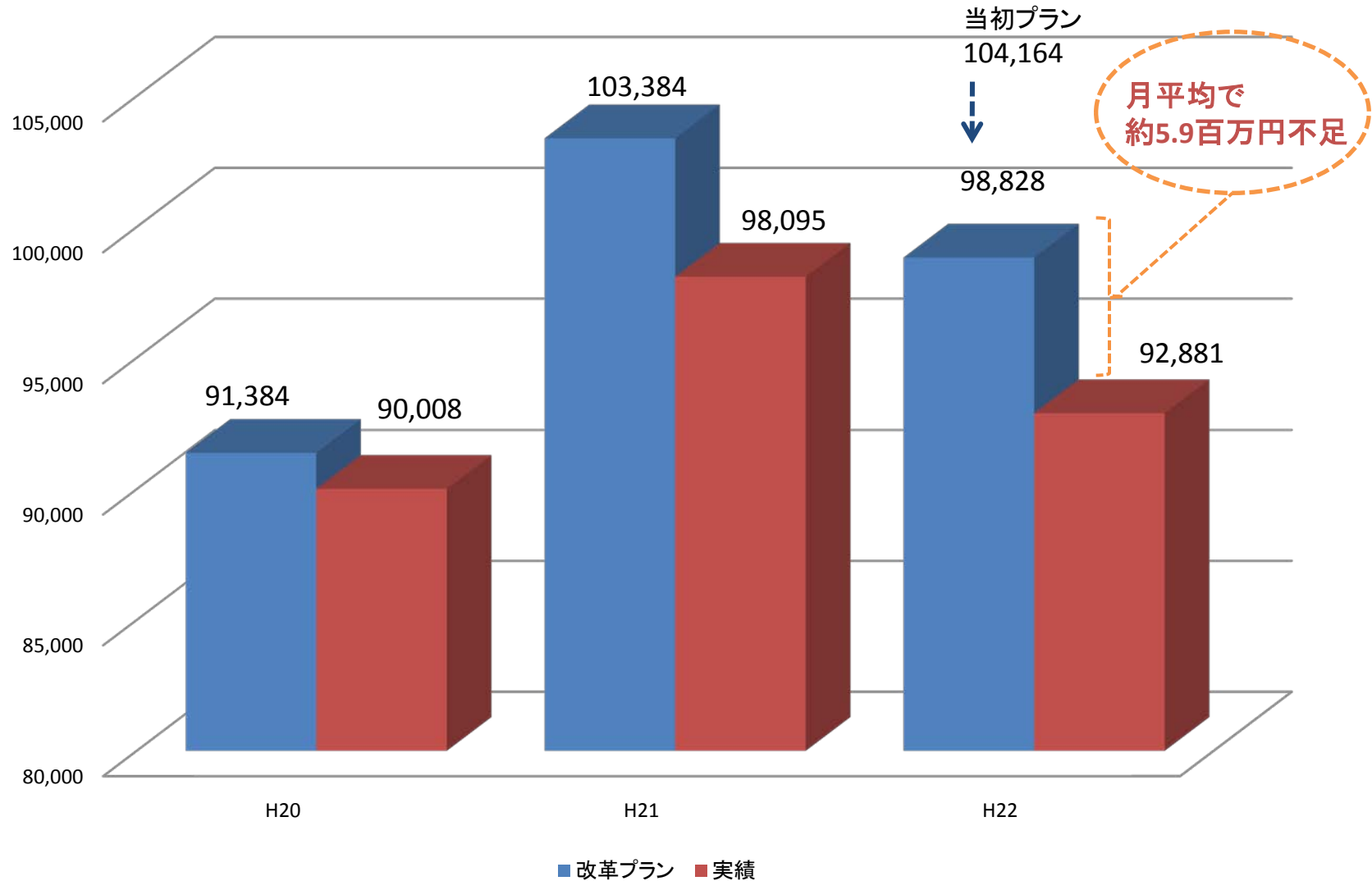
入院収益の状況・改革プラン対比

※月平均収益（単位：千円）

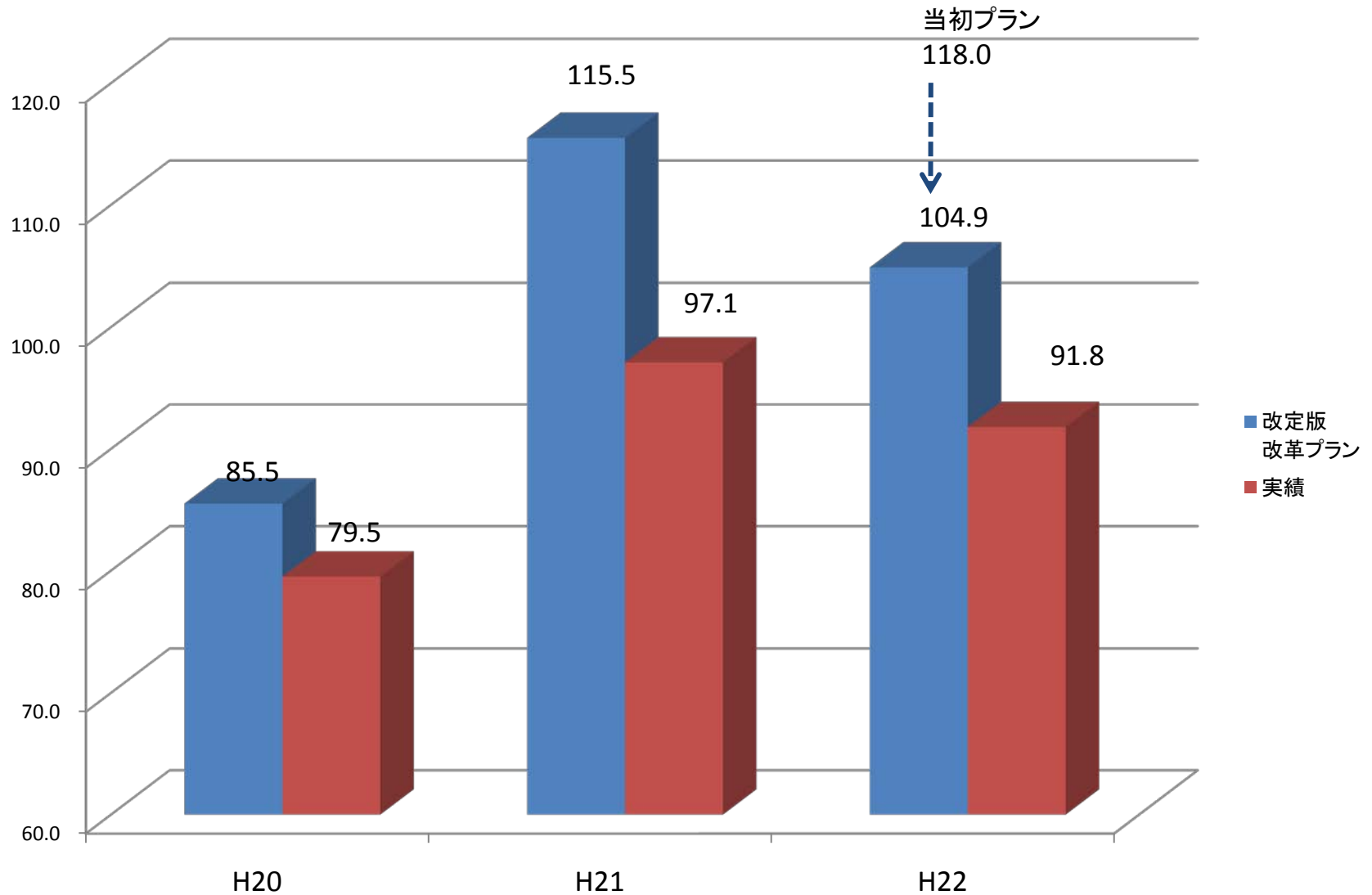


外来収益の状況・改革プラン対比

※月平均収益（単位：千円）

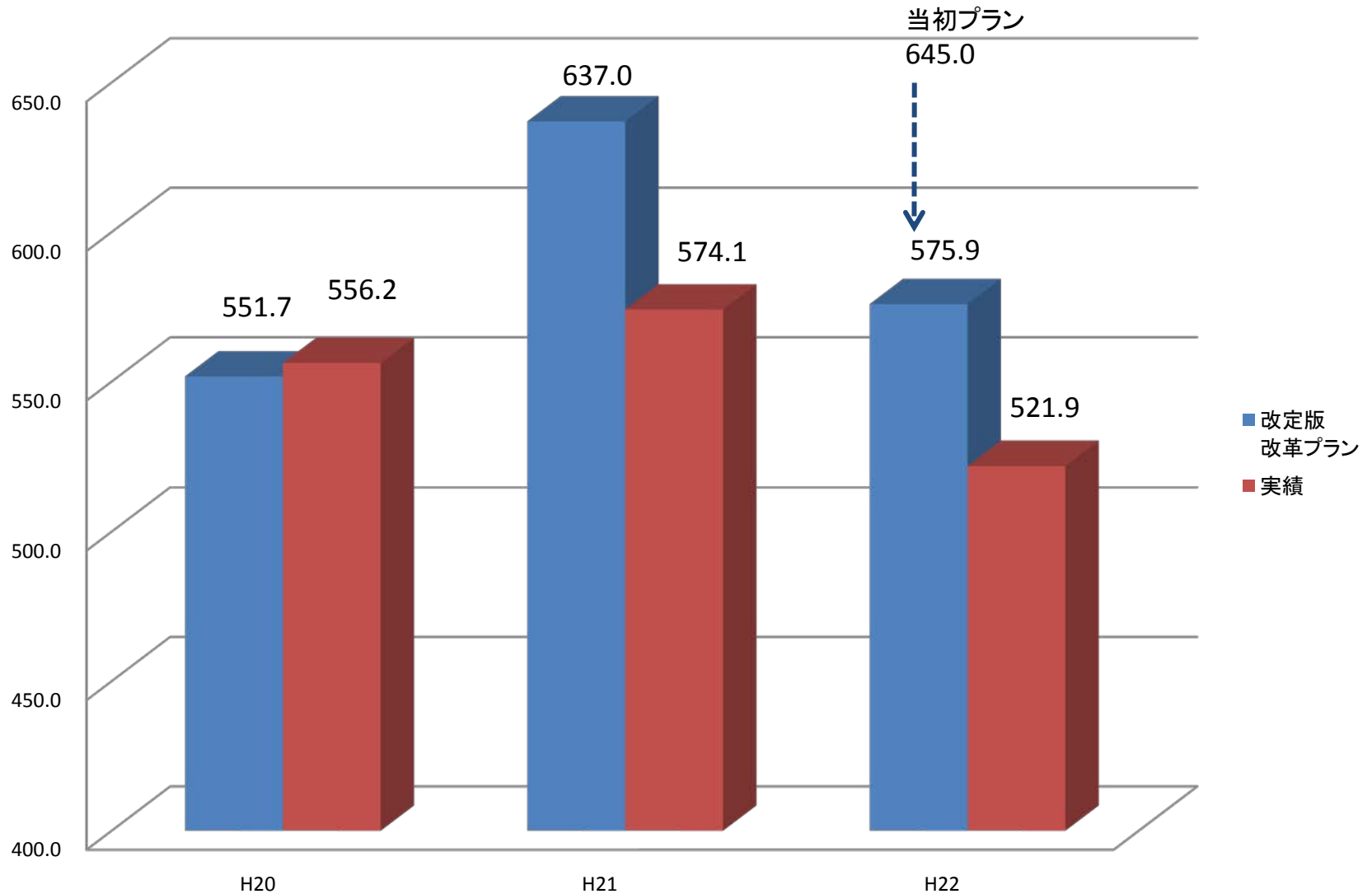


入院患者の状況(一日平均)



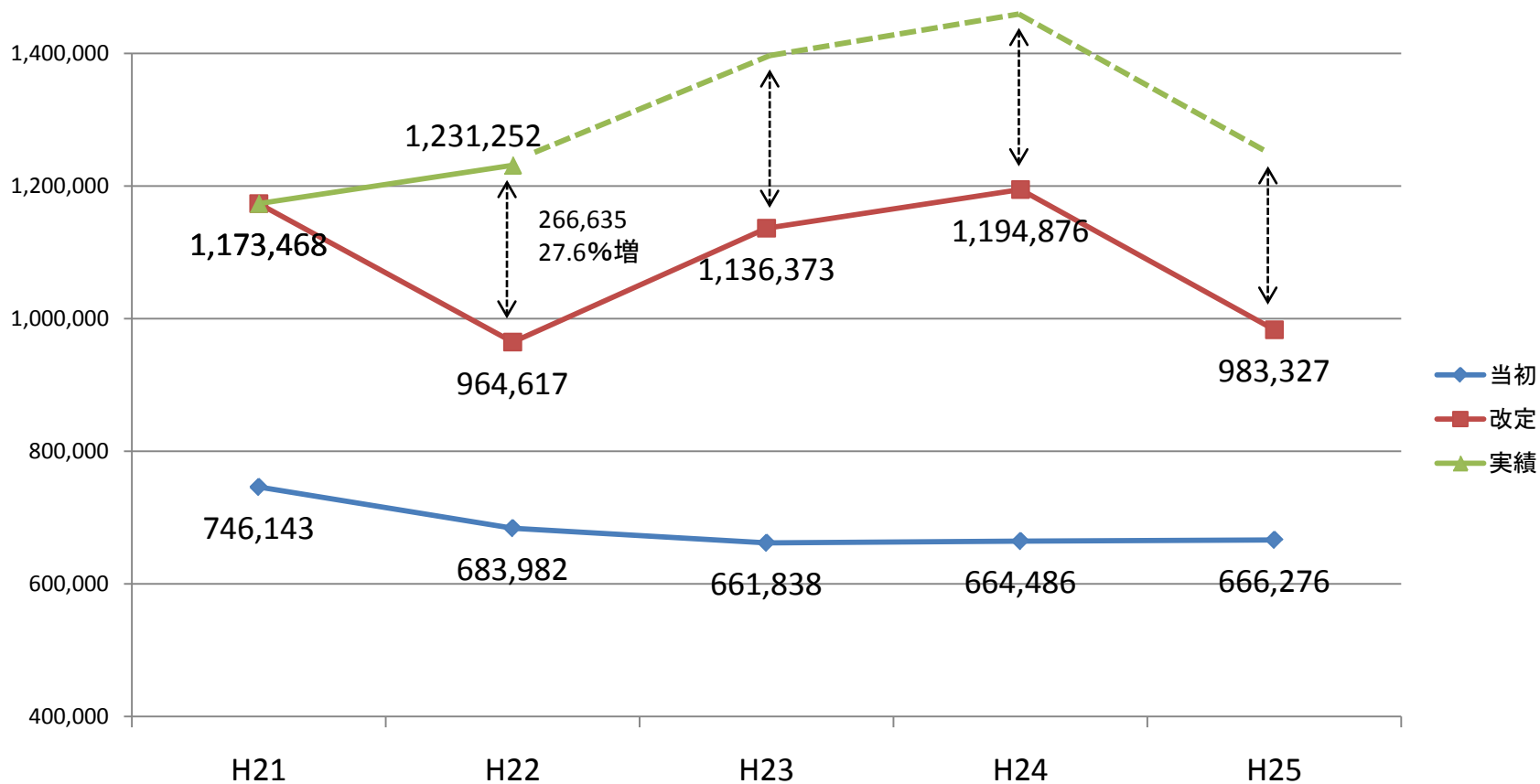
※H22年度は改定版

外来患者の状況(一日平均)



改革プラン改定版分析より

7.一般会計繰出金



	H21	H22	H23	H24	H25
当初	746,143	683,982	661,838	664,486	666,276
改定	1,173,468	964,617	1,136,373	1,194,876	983,327
実績	1,173,468	1,231,252			

※H22は決算見込み額

問題点

- 改革プラン改定版の数値と9月末実績の乖離
 - － 料金収益で **255百万円**(病院作成の決算見込みとの乖離)
 - － **337百万円**(上期実績との乖離) → **357百万円**
 - － 職員給与費で **167百万円**(病院作成の決算見込みとの乖離)
- 一般会計繰出金を改定版改革プランでは**965百万円**と見込んでいるが8月末実績をベースにした病院作成の決算見込みでは**1,231百万円**としており、既に**266百万円**もの乖離となっている。
- 現時点で、新病院建設事業費をベースにした明確な収支見通しが示されていない。
- 改定版改革プランを目安に判断するとしても、今年度の数値で収支合わせて**5億円近い違い**がある。
- 麻酔科、外科の退職者がでていますが、今後の医師招へい対策の見通しも示されていない。
- 看護師の大量退職の問題もある。(H28年度までに21名)
- 新築と合わせた院内の様々な改革、改善が計画的実行が必要である。

市民と共に病院建設を進める為に

- 新病院の建設費用を含む収支見通しを明らかなしななければならない。
- 医師の招へいの見通しや今後の配置計画(目標)を明らかにしなければならない。
- 一般会計繰出金の限度額及び他の事業への影響も示す必要がある。
- 病院建設の内容について市民説明会を行政自ら自主的に行うべきである。

※市民の関心事は、「どんな病院になるのか?」「建設費はどのくらい?」、「病院の経営は大丈夫?」「支える一般会計は大丈夫?」、「根室市が夕張の様になってしまうのでは?」

※市民不安の払拭が必要